



Shuji Mukai Memorial 1929-2022

向井 楫爾 メモリアル

オペレッタ・ガラ・コンサート

オペレッタに魅了された3人のマエストロが捧げる

～ 向井 楫爾先生を偲んで～

JOHANN STRAUSS
Die Fledermaus

Bizet
Carmen

Der Zigeunerbaron

LEHAR
DIE LUSTIGE WITWE

Wiener Blut

Gräfin Mariza

音楽監督
牧村 邦彦
演出
向井 楫爾
演出補完
井村 誠貴
振付
定國 可奈
酒匂 由紀子
舞台監督
倉片 公
コレペティトウア
金岡 優子
新庄 桃子
副指揮
田村ゆう子
金 正奉
演出助手
牧野 悦子

全曲日本語訳詞
訳詞：向井楫爾



阪 哲朗

牧村 邦彦

井村 誠貴

2023年**5月21**日(日) 15時開演 [14時開場]

フェニーチェ堺 大ホール

入場券：3,000円【全席自由】*未就学児の入場はご遠慮ください。

■チケット購入方法

フェニーチェ堺 WEBサイト <https://www.fenice-sacay.jp/>
チケット窓口 (9:00～20:00)

休館日：第1・第3月曜(祝日の場合は開館)

- 主 催：向井楫爾メモリアルコンサート実行委員会
- 協 力：喜歌劇楽友協会
- 問合せ：向井楫爾メモリアルコンサート実行委員会
mukai.operettenverein@gmail.com

管弦楽：ムジカフィルハーモニー管弦楽団
合 唱：オペレッテンフェライン合唱団



フェニーチェ堺



問合せメール

本公演は、フェニーチェ堺の新型コロナウイルス感染症対策のガイドラインに沿って開催します。詳細は、フェニーチェ堺のWEBサイトをご確認ください。



〒590-0061 堺市堺区翁橋町2-1-1 南海高野線堺東駅から徒歩約8分

向井楫爾が創設した喜歌劇楽友協会で薫陶を受けた3人のマエストロが織りなす珠玉のオペレッタ！お馴染みの歌手・合唱団・オーケストラが向井楫爾を偲び、一日だけの復活コンサートが実現する！

ソリスト (50音順)

相原 敏明
有元 正人
上田 衛
上辻 直樹
臼井 秀明
奥村 千晶
鹿賀 千鶴子
金川 佳永
金丸 七郎
清原 邦仁
久米 秀樹
近藤 修平
櫻井 孝子
佐々木 信乃
澤田 和夫
瀬田 雅巳
橘 茂
当重 茜
中島 恵美
永田 桂
中濱 加津子
西田 真由子
細川 勝
松岡 重親
松平 季子
森本 まどか
八百川 敏幸
山岡 史賢
山田 維久子
山中 雅博
横山 陽子

向井 楫爾

1929年6月24日 東京市（当時）中目黒で生誕。楫爾という名前は向井家の家長として自分で舵を取れという意味で祖父の向井英太郎が命名した。1959年大阪音楽大学卒業。故ニコラ・ルッチ氏に師事。NHK放送合唱団、関西二期会においてテノール歌手として活躍した。オペラ、日本歌曲、ポピュラー音楽までの幅広いレパートリーのリサイタルを毎年企画、合計21回開催。1962年に大阪毎日国際サロンで開催したリサイタルに対しては、第1回音楽クリティック・クラブ賞新人賞を受賞した。1982年、喜歌劇楽友協会を設立して、理事長に就任。当時、日本において演奏される機会が稀であったオペレッタに注目し、オペレッタ専門団体として活動を開始した。クラシック音楽が一般的に広く受け入れられるためには、美しい音楽のみならず、芝居、踊りの要素にあふれるオペレッタ作品こそ最適であるとの信念に基づき、上演・普及活動に取り組んだ。各公演では、美術・衣裳・演出等を自ら手がけ、2014年の活動休止に至るまでの32年間で、本公演だけでも、実に58回ものオペレッタ・オペラ公演を制作した。

2022年4月10日 大阪府羽曳野市で逝去。享年92歳。

牧村 邦彦

大阪芸大在学中、当時この学校の講師をされていた向井楫爾先生に声をかけて頂き、先生が企画したオペレッタ公演の練習ピアニストとして仕事を始める。1982年喜歌劇楽友協会発足第1回公演で、故小松一彦氏の副指揮者としてオペラ指揮者の心得の手ほどきを受ける。1984年オペレッタ「ジプシー男爵」公演時、急遽公開ゲネプロを振ることになり、初めてのプロオケにビビりながら何とか最後まで辿り着く。オペレッタにはまり込み、ウィーンに留学。年間150本のオペラ、オペレッタを観たの思い出である。帰国後も井村誠貴氏にバトンを受け継ぐまで「こうもり」を振り続けた。2004年まで大阪交響楽団の指揮者を務め、この楽団のオペラコンチェルトシリーズを継続した。新国立劇場スタッフを経て、全国のオペラ団体を指揮し、北は札幌から南は琉球フィルまで、各地のオーケストラと共演。現在、みつなかオペラ音楽監督、大阪音楽大学大学院講師、大阪芸術大学客員教授、ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団正指揮者。

阪 哲朗

1987年京都市立芸大作曲専修1回生の冬、大学の掲示板で喜歌劇楽友協会の練習ピアニスト、指揮者募集の掲示を見て応募し向井先生に拾っていただく。最初はピアニスト、後に副指揮者として「乞食学生」「こうもり」「カルメン」「ジプシー男爵」といった主要なレパートリーを牧村邦彦氏の元で研鑽を積む。来る日も来る日も新生保育園に通い、オペレッタ特有のアゴギク、テンポバート、芝居を損なわない音楽の入れ方などの基礎を学ぶ。1990年京芸卒業後、11月「こうもり」で喜歌劇楽友協会デビュー、その後は「カルメン」「マリツァ伯爵夫人」関西初演などを指揮する。1990年渡欧後は、1992年「ジプシー男爵」でスイス、ビール歌劇場でデビュー、以降、オペレッタ、ミュージカルをライフワークとして、ウィーンフォルクスオーパーでの「こうもり」「カルメン」を始め、「ウィーン気質」「メリーウィドー」「ロシアの皇太子」「チャルダシュの女王」「マリツァ伯爵夫人」「花火」「ラ・カージュ・オ・フォール」「屋根の上のヴァイオリン弾き」「ウエストサイド物語」などをドイツ語圏の劇場を中心に指揮。

現在、山形交響楽団常任指揮者、4月よりびわ湖ホール芸術監督、京都市立芸術大学指揮科教授に就任。

井村 誠貴

1990年、当時ミラベッラ役で「ジプシー男爵」に出演予定だった母から「凱旋行進曲のマーチングドラム奏者を向井先生が探している・・・」との話を聞き、急遽出演する事になった私。それが私の喜歌劇デビュー！？指揮者は牧村邦彦氏。そして、その凱旋行進曲の副指揮者としてペンライトを振っていたのが阪哲朗氏であった。その後、1992年より副指揮者として参加。1997年「ウィーン気質」邦人初演で指揮者デビュー。それからは喜歌劇楽友協会のほぼ全ての公演を、2014年「カルメン」で幕を下ろすまで、実に19公演を指揮してきた。副指揮時代は大道具搬出のトラック運転。時には向井先生ともぶつかりましたが、周囲からは『まるで親子喧嘩！』と言われるほどの関係。音楽だけでなく、オペラ作りの基礎を向井先生から学んだ。その後、2013年には国内における年間オペラ指揮公演回数で日本人第1位になるなどオペラ指揮者としての地位を確立。1999年からはミュージカルにも活動の場を広げ、「ラ・カージュ・オ・フォール」を皮切りに、「マイ・フェアレディ」「レ・ミゼラブル」（いずれも東宝）等のロングラン公演を指揮。その活動の幅は指揮活動だけにとどまらず、オペラ演出、企画構成、さらには作曲・作詞・編曲者としての活動も著しくマルチな才能を発揮。

現在、春日井市第九演奏会音楽監督、BBSO音楽監督、尼崎市合唱団指揮者、平野マスターズ吹奏楽団音楽監督、関西音楽人のちから「集」代表。

ムジカフィルハーモニー管弦楽団

ムジカフィルハーモニー管弦楽団は、1963年創立以来、青少年のためのコンサート、バレエ、オペラ公演など演奏活動を行ってきたエウフォニカ管弦楽団を前身とし、その創立者の遺志「子供たちにクラシック音楽に親しむことによって心豊かな人生を過ごしてほしい」との情熱を受け継いだ演奏家と指揮者とスタッフにより2020年に誕生しました。その設立にあたり佐渡裕氏をはじめ数多くの指揮者、演奏家、音楽関係者から賛同と応援を頂き今後更に幅広い活動が期待されているオーケストラです。

前身のエウフォニカ管弦楽団と喜歌劇楽友協会とは、1984年のカール・ミレッカー作曲オペレッタ「乞食学生」公演以降、30年間にわたり共演を重ねました。



オペレッタテンフェライン合唱団

喜歌劇楽友協会合唱団を母体として2015年1月に設立されたオペレッタを専門に上演する合唱団。オペラ・オペレッタの舞台において第一線で活躍するソリストから経験豊富な合唱団員まで幅広いメンバーが団員登録をしており、公演を行うごとに、登録メンバーから出演者を募集し合唱団を編成している。これまで主催公演としては、オペレッタ名曲コンサートを2回開催したほか、2016年1月には、オペレッタ「メリーウィドー」（全3幕・日本語上演）を合唱団自ら主催・制作をして好評を博した。外部団体からの出演依頼も多く、「カルメン」「魔笛」「フィガロの結婚」「こうもり」等のオペラ・オペレッタに合唱団として出演している。

